

免疫固定電気泳動[尿]					31000
					担当部署
U-IF-E					一般
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*5.尿・便・その他→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		該当なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	新鮮尿	2 3 スピッツ	なし	10	mL
2	蓄尿	23 蓄尿	防腐剤、尿量インジゲーター	10	mL
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) 血液など異物の汚染がひどい尿 2) バーコードのない検体 3) 量不足 4) 蛋白濃度が 5mg/dl 以下の検体（血液内科を除く） 5) 材料違いの検体			
保管検体の保存期間		凍結保存 14 日（追加検査については検査室に要問合せ）			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			

測定時間		1～7日				
生物学的基準範囲		(-)				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		免疫グロブリンの特定クローンの増加がみられるM蛋白血症において、そのクラス（I g G、I g A、I g M、I g D、I g E）やタイプ（κ、λ）、ベンスジョーンズ蛋白の型別判定に用いられる。また各尿蛋白成分の変動は、病態によって欠損や増減などの異常パターンを示し、疾患の診断および病態把握に役立つ。				